

西三河支部

幸田町町村合併70周年記念総合防災訓練

- 日 時：令和6年9月7日（土）午前9時
- 場 所：幸田町防災広場（メイン会場）
（額田郡幸田町）
- 主 催：幸田町
- 訓練参加機関：51機関

西三河支部（石山勝範支部長）は、災害発生時における応急対策について幸田町、各行政機関、民間企業、自主防災会、ボランティア団体などの参加機関が連携を確認し、初期行動及び相互協力体制の確立並びに住民の防災意識の高揚を図ることを目的とした「幸田町町村合併70周年記念総合防災訓練」に参加しました。

連日猛暑が続く当日の愛知県の最高気温は35℃、西三河支部からは、石山支部長、金井副支部長、太田氏（中部保全（株））の3名が参加。

午前8時45分に訓練の概要が放送され、「本日の訓練は、発生が危惧されている南海トラフ地震をはじめとする大規模災害を想定した総合防災訓練です。先般、8月8日に宮崎県沖の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が初めて発表されました。（中略）本日ここに参集いただいた皆様におかれましては、発災時、公助・共助という部分で先頭に立って活動していただく方々であります。そのためには、日頃から自助の確立が必要不可欠となりますので、これを機に各自再確認していただく事を切に希望いたします。」と説明がありました。

訓練は、幸田町及び各関係機関団体を中心とした

基幹訓練と、地域の自助、共助力の向上を趣旨とした訓練に分けられました。

参加者は地震発生時のシェイクアウト訓練や発災後の安否確認訓練、避難所設置訓練、炊き出し設置訓練、倒壊家屋救出訓練、初期消火訓練等、様々な状況を想定した訓練を体験しました。

その中で、西三河支部は「道路復旧・ガレキ除去訓練」を、幸田町土木課と額田郡建設業組合で担当。

実践さながらの訓練では、広場のグラウンドにガレキを模した木材が積まれ、ショベルカーでガレキを挟み、中部保全（株）が提供した収集運搬車へ全て積み上げ、その後会場を一回りしました。

また、訓練の実施中に「現在行われている訓練は、道路復旧・ガレキ除去訓練です。地震発生により大量のガレキが発生します。発生したガレキは、災害復旧、復興をするにあたり大きな障害となります。幸田町は、幹線道路復旧のため額田郡建設業組合や、『災害時における廃棄物の処理等に関する協定』を締結している（一社）愛知県産業資源循環協会の協力により、一刻も早い道路の復旧を図ります。」と会場全体に向けて放送がありました。

毎年開催されている防災訓練ですが、特に今年は8月に『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表され、各家庭において1週間ほどの飲料水の備蓄や、長期保存可能な食料品を準備するような告知が報道等で盛んに行われ、社会全体の防災意識が高まったこともあり参加者は真剣に取り組んでいました。



防災広場の様子



道路復旧・ガレキ除去訓練の様子



訓練に参加した中部保全（株）太田氏